

## レール頭部きず補修工法用新型熱間矯正機の開発

伊藤太初 井筒宏樹 相澤宏行 山本隆一

レール頭部きず補修工法は、テルミット溶接を利用した補修溶接方法であり、低コストでレール頭部きずを補修することが可能な手法です。当工法を用いて損傷レールを補修する場合、補修部の熱収縮による落込みを防止するために熱間矯正作業が必要となります。現行の熱間矯正機では、レール底面を支点として曲げ上げる機構のため、準備作業としてバラスト掘削やまくらぎ移動が必要となります。また、同様の理由によりスラブ軌道などの直結系軌道では適用自体が困難となります。そこで、本研究では、直結系道にも適用可能な新型熱間矯正機を開発しました。当該矯正

機を用いたスラブ軌道上での溶接試験の結果、矯正能力を含め、所定の性能を有することを確認しました。

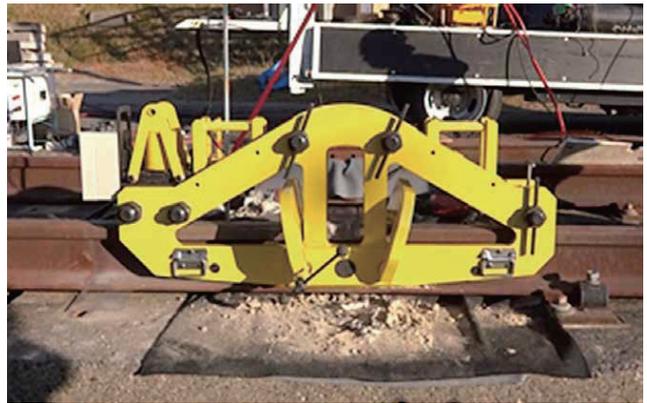


図 新型熱間矯正機による矯正状況(スラブ軌道)